

学校だより

1 月号（巻頭言）



嶺 鶴

令和7年1月8日
大田区南久が原 2-17-1
電話 (3750)2260
FAX (3750)2280

いよいよ校舎改築Ⅲ期工事へ
——新体育館棟着工の年に寄せて——

大田区立東調布第三小学校
校長 並木 昭

年頭にあたり、本校と縁するすべての皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和7年（乙巳きのとみ）は、昭和100年、終戦80年の節目です。また、校舎改築工事が終了する本校開校100年となる令和10年は、明治の改元から160年の節目でもあります。

「大田区立東調布第三小学校及び仮称大田区南久が原二丁目複合施設改築その他工事」のⅡ期は、終盤に入りました。校長室の窓からは、旧校舎の柱や壁を解体する音や、解体で生じたがれき類を破砕する音とともに、壁の向こうに隠れていた陽光が、日々新しく、穏やかに入り込んできます。

本校旧校舎は、昭和35年（1960年）に落成し、次いで、昭和46年（1971年）に、校舎北端から東西方向へ増築されました。60年前の乙巳の年である昭和40年（1965年）は、前年に開催された東京オリンピックの余韻のままだに、我が国の高度成長が進んでいった頃です。そのような時代に建てられた、威容を誇る旧校舎は、この度のⅡ期工事によって北側のおよそ半分が解体され、その後、新しい体育館棟が建設されます。

Ⅱ期工事の数か月間は、周囲の環境に極力配慮したビル解体の高い技術を目の当たりにする期間でもありました。去る12月の音楽会本番の最中にも、解体工事は通常どおり行われました。それだけ、工事における静音対策には万全を期していたのです。

国連のSDGs（持続可能な開発目標）の期限である2030年まで、あと5年となりました。地球環境への社会的関心の高まりなど、持続可能な社会の構築への機運は、学校教育にも波及しています。

開校100年の、次の100年を志向し、本校校歌の歌詞にある「自治の校風」を次代に継承すべく、教職員一同、公教育の使命と責任を改めて自覚し、知恵と努力を結集してまいります。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。